

高齢者専門病院における一般向け健康情報サービス

宮本孝一

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

平成 25 年春の施設新築・移転により東京都健康長寿医療センターの中に開設された、沿革展示・健康情報提供・休憩の複合コーナー「養育院・渋沢記念コーナー」は、開設当初から来院者より好評を得、病院のアメニティー向上に役立っている。

「養育院・渋沢記念コーナー」の健康情報サービス部分は「なるほど！からだラウンジ」と名付け、治療を受けている患者や患者家族が、自分たちが直面している健康問題について理解を深め、知識を療養生活に生かすための情報を提供している。

「なるほど！からだラウンジ」では、閲覧席を兼ねた独特の形状の書架に約 1,300 冊の図書を置き閲覧に供している。また、このほか常時 50～100 冊程度の図書が借り出され、自宅や病室で読まれている。

公衆衛生・医療・福祉の境界がないという高齢者の健康問題の特徴、本施設事業の専門分野である老年学（Gerontology）・老年医学の最新の知見の紹介、高齢疾患の特徴ゆえに補完代替医療や健康商品・健康法への期待が高いことに対する健康情報リテラシーの重要性、という 3 本柱をベースに、選書と独自に考案した分類を行っている。

図書の提供のほかには、インターネット閲覧（一般向け医療・福祉情報サイトのリンク集設置）、立体モデル、自作の掲示物・配布物、触れて動かして体感する体験型（Hands-on）教材なども用意し、「図書館・図書室」のイメージにとどまらず科学館的な要素ももつ空間にしたいと考えている。

こうした、高齢者医療施設と、高齢者の健康問題に対する医学的社会的な研究施設を統合した「東京都健康長寿医療センター」での新コーナーの取り組みを紹介し、アメニティー向上の場から QOL 向上の一助となる場へ、高齢社会時代の総合病院における市民への情報提供のあり方を考える。

